



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月29日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東
 コード番号 3667 URL <http://www.enish.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	4,192	△13.1	△793	-	△802	-	△1,221	-
26年12月期第3四半期	4,824	△0.5	294	△71.8	289	△72.3	167	△73.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△175.96	-
26年12月期第3四半期	24.23	23.16

(注) 平成27年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	2,346	1,700	72.1	241.91
26年12月期	3,455	2,866	82.9	413.05

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,691百万円 26年12月期 2,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年12月期	-	0.00	-	-	-
27年12月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 平成27年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△10.1	△1,050	-	△1,050	-	△1,600	-	△230.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期 3 Q	6,992,680株	26年12月期	6,939,360株
② 期末自己株式数	27年12月期 3 Q	-株	26年12月期	-株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期 3 Q	6,940,845株	26年12月期 3 Q	6,925,794株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成27年10月30日 (金) に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和策により、企業収益は回復傾向にあり、緩やかな景気回復基調が継続されるものと期待されます。

当社の事業領域である、ソーシャルアプリ事業を取り巻く環境につきましては、国内ブラウザゲーム市場については成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注）を中心に国内ソーシャルゲーム市場は今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第3四半期累計期間においては、既存タイトルに関しては運営体制の強化を行い引き続き売上収益に貢献しておりますが、本年5月にリニューアルを実施したネイティブアプリケーション「千年の巨神」の売上高の不振及び新規タイトルの品質向上のためのリリース時期の延期等による厳しい状況での推移を踏まえ、第2四半期会計期間において海外拠点の整理・縮小等に伴う特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しを行いました。その後コストの圧縮施策を進めるとともに、新規タイトルのマーケットでの競合状況、ゲームの機能面検証をより精緻に行うとともに、収益性の観点からもプロダクトポートフォリオの見直しを行い、平成27年8月には女性向けセレクトシューティングアプリ「MIRAMIRA」をリリースいたしました。

足元の状況としては、平成27年10月に株式会社スクウェア・エニックスと共同開発タイトルである、日本各地の名産・名所を由来とするキャラクター「ゆるかみ」を探して育てる「ゆるかみ！」のリリースを行っているほか、当事業年度にはさらにネイティブアプリケーション2タイトルのリリースを予定しており、今後の収益寄与が期待されます。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は4,192百万円（前年同四半期比13.1%の減少）、営業損失は793百万円（前年同四半期は営業利益294百万円）、経常損失は802百万円（前年同四半期は経常利益289百万円）、四半期純損失は1,221百万円（前年同四半期は四半期純利益167百万円）となっております。

（注）ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて948百万円減少し、1,775百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少（前事業年度末比345百万円の減少）、及び繰延税金資産の取崩し等による流動資産その他の減少（前事業年度末比418百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて160百万円減少し、570百万円となりました。これは主に、関係会社長期貸付金の減少等による投資その他の資産の減少（前事業年度末比124百万円の減少）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ1,108百万円減少し、2,346百万円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて56百万円増加し、581百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加（前事業年度末比300百万円の増加）があった一方で、未払金の支払い等による流動負債のその他の減少（前事業年度末比253百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、65百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ57百万円増加し、646百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて1,166百万円減少し、1,700百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年6月26日の「業績予想の修正及び特別損失の発生、繰延税金資産の取崩しならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

通期業績見通し（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

売上高	5,800百万円（前事業年度比10.1%の減少）
営業利益	△1,050百万円
経常利益	△1,050百万円
当期純利益	△1,600百万円

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,328,908	983,111
売掛金	770,108	585,147
その他	625,552	207,438
流動資産合計	2,724,568	1,775,698
固定資産		
有形固定資産	237,997	204,181
無形固定資産	24,795	22,641
投資その他の資産	468,204	344,099
固定資産合計	730,997	570,922
資産合計	3,455,566	2,346,620
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,690	119,593
短期借入金	-	300,000
その他	414,684	161,413
流動負債合計	524,375	581,006
固定負債		
資産除去債務	64,892	65,444
固定負債合計	64,892	65,444
負債合計	589,267	646,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,850	889,142
資本剰余金	864,850	888,142
利益剰余金	1,135,598	△85,716
株主資本合計	2,866,298	1,691,569
新株予約権	-	8,600
純資産合計	2,866,298	1,700,169
負債純資産合計	3,455,566	2,346,620

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,824,388	4,192,989
売上原価	3,706,033	4,161,743
売上総利益	1,118,354	31,246
販売費及び一般管理費	823,856	824,278
営業利益又は営業損失(△)	294,498	△793,032
営業外収益		
受取利息	333	244
還付加算金	—	1,668
営業外収益合計	333	1,912
営業外費用		
支払利息	—	1,769
為替差損	5,301	9,720
営業外費用合計	5,301	11,490
経常利益又は経常損失(△)	289,531	△802,610
特別損失		
減損損失	—	8,640
固定資産除却損	1,788	—
関係会社株式評価損	—	10,089
事業整理損	—	139,933
特別損失合計	1,788	158,663
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	287,742	△961,274
法人税、住民税及び事業税	194,959	1,717
法人税等調整額	△75,051	258,322
法人税等合計	119,907	260,040
四半期純利益又は四半期純損失(△)	167,834	△1,221,314

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ソーシャルアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。